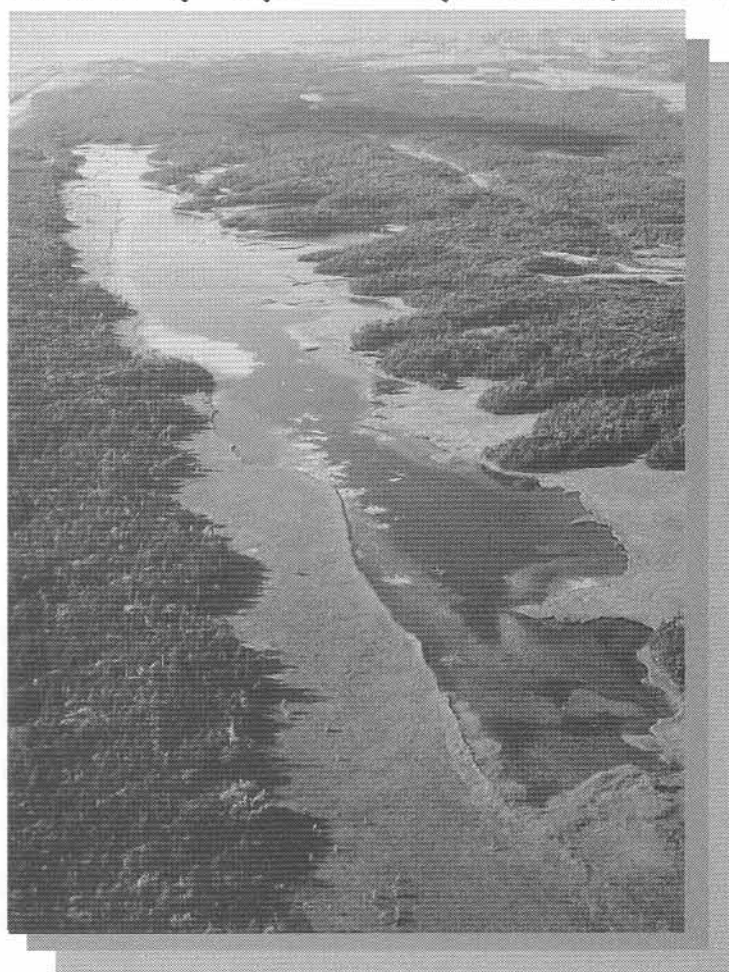


# 環境経済・政策学会 2002年大会

統一テーマ  
『公共事業と環境保全』



写真提供/岡田 操

大会プログラム

2002年9月28日～29日

於 北海道大学

主催 環境経済・政策学会

9月27日(金) 13:00~18:00 会場：北大経済学部大会議室  
 特別国際シンポジウム \*先着申し込み40名、実行委員会宛申し込みお願いします  
 「東アジアのサステナブルな経済と社会」  
 Lei Ming(中国) Keijun Jiang (中国) Daigee Shaw(台湾) Wen Yan Chiau (台湾) RheeJengJeon (韓国) Sang-Hee Yoo (韓国)

\* 午前8:30より学術交流会館で受け付け開始

9月28日(土) 午前の部 第1部報告 9:00-11:20 第2部 総合討論 11:30-12:30

セッションA-1：地球温暖化とその対策(その1) クラーク大講堂

座長：森田恒幸(国立環境研究所) 討論者 松岡譲(京都大学) 畑直之(気候ネットワーク)

- 1 排出権取引シミュレーション  
 ○岡野貴史 東京大学(院)／草川孝夫 大阪大学(院)／西條辰義 大阪大学社会経済研究所／鈴木篤之 東京大学(院)
- 2 排出権取引実験：投資の不確実性と責任制度  
 ○草川孝夫 大阪大学(院)／西條辰義 大阪大学社会経済研究所
- 3 リアルオプション法による、排出権オプションの経済分析  
 谷口直彦 京都大学(院)
- 4 環境政策としての炭酸ガス排出権取引市場制度の評価 —異時点間取引効果を中心に—  
 藤目和哉 日本エネルギー経済研究所
- 5 CO<sub>2</sub>排出権と電力の取引シミュレーション  
 —実験経済学的アプローチとマルチエージェントモデル・アプローチとによる比較—  
 ○大河原透・所健一・牧野(若林)雅代・松屋親広 電力中央研究所

セッションB-1：環境評価と環境資源勘定(その1) 学術会館第3会議室

座長：出村克彦(北海道大学) 討論者 吉田謙太郎(農林水産政策研究所) 薫祥哲(南山大学)

- 1 企業の環境保全行動に対する社会評価  
 ○岡村薫 大阪大学(院)・橋本介三・裘春暉 大阪大学
- 2 森林の公益機能の環境経済的評価手法開発 —マレーシアの熱帯林を例として—  
 ○坂上雅治 日本福祉大学／W.W.Chuen・L.H.Fui マレーシア森林研究所  
 奥田敏統 国立環境研究所／鷺田豊明 豊橋創造大学／栗山浩一 早稲田大学
- 3 コンジョイント分析の適用による被害算定型ライフサイクル環境影響評価手法の開発  
 ○坂上雅治 日本福祉大学／伊坪徳宏・稲葉敦 産業技術総合研究所／鷺田豊明 豊橋創造大学  
 栗山浩一 早稲田大学／國部克彦 神戸大学
- 4 CVMの評価額に含まれる倫理的満足と選択型実験によるその評価  
 庄子康 北海道大学(院)
- 5 表明選好法による騒音の経済評価 —情報提示量の差によるバイアスに関する研究—  
 ○松井孝典・桑野園子・青野正二 大阪大学(院)
- 6 多様な価値を有する環境のランダム効用モデルによる評価  
 北海道、厚岸町の別寒辺牛湿原を題材として  
 諏訪竜夫 北海道大学(院)

セッション：C-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(その1) クラーク大集会場

座長：植田和弘(京都大学) 討論者 外川健一(九州大学) 小出秀雄(西南学院大学)

- 1 産業廃棄物不法投棄の経済分析  
阿部新 一橋大学(院)
- 2 不法投棄が存在する状況下における最適な廃棄物管理政策に関する経済分析  
○清木真明 東京工業大学/日引聡 国立環境研究所
- 3 家庭の消費財選好とごみ発生モデルの開発  
○藤原健史・上野智史・松岡譲 京都大学
- 4 消費財のフローとストックを考慮した家庭ごみ発生モデルの構築  
○金森有子・藤原健史・松岡譲 京都大学
- 5 一般均衡モデルを用いた廃棄物政策の経済的影響評価  
○奥島真一郎・山下英俊 東京大学
- 6 開放経済下での廃棄物処理・リサイクルについて ―経済モデルによる分析―  
齊藤崇 慶應義塾大学(院)
- 7 選択型実験による廃棄物処分場設置の社会経済的評価  
笹尾俊明 岩手大学

セッション：D-1 アジア及び途上国の環境問題（その1）学術会館 第4会議室

座長：明日香寿川（東北大学） 討論者 松岡俊二（広島大学） 寺西俊一（一橋大学）

- 1 中国吉林省における生態省を目指す取り組みについて  
○林永輝 同志社大学(院)/泉留維 東京大学(院)
- 2 中国における脱硫アクティビティを評価する経済・工学・農学・流体力学・疫学の統合モデル  
○鬼頭浩文 四日市大学/中野諭 慶應義塾大学/酒井裕司 東京大学(院)  
関根嘉香・橋本進一郎 東海大学/山野優子 昭和大学
- 3 上海市における自動車排気汚染対策  
羅栄莉 名城大学(院)
- 4 現代中国の緑化政策 ～森林環境をめぐる政治社会構造～  
平野悠一郎 東京大学(院)
- 5 日本の中小企業の公害対策支援メカニズムとその中国への適用可能性について  
○森嶋彰 広島修道大学/常杪 地球環境戦略研究機関  
任勇 日中友好環境保全センター/井村秀文 名古屋大学
- 6 中国における鉄鋼・石炭化学産業での CDM プロジェクト設計・評価  
氏川恵次 東北大学

セッション：E-1 環境政策・制度の評価・比較（その1）学術会館 小講堂

座長：山口光恒（慶應義塾大学） 討論者 諸富徹（京都大学） 仲上健一（立命館アジア太平洋大学）

- 1 3,230自治体におけるごみ有料化導入効果の弾力性予測  
碓井健寛 神戸大学(院)
- 2 自治体を対象とした環境保全活動評価プログラム  
二渡了 産業医科大学
- 3 財産区有林の管理実態に関する環境経済学的考察  
―岩手県江刺市・滋賀県甲賀町の財産区有林を事例として―  
三俣学 京都大学
- 4 東欧における EU 国際環境協力の現状と課題  
田中研一 国際協力事業団

セッション：F-1 環境経営・環境会計・環境監査（その1）クラーク 集会室10

座長：河野正男（横浜国立大学） 討論者 小幡範雄（立命館大学） 森下研（エコマネジメント研究所）

- 1 環境活動評価プログラム（エコアクション21）の現状と課題  
山本芳華 京都大学(院)
- 2 これからのマネジメントシステムと環境経営の方向性  
穴戸雅子 KPMG 審査登録機構
- 3 日本におけるISO14001 認証取得事業所の環境情報開示の実態  
○金載分・張允鍾・早瀬光司 広島大学
- 4 ISO規格の統合化と企業の国際規格対応の課題  
武石礼司 富士通総研
- 5 環境管理の「官僚制化」が環境パフォーマンスに与える影響について：ISO14001の有効性を考えるために  
高橋卓也 滋賀県立大学
- 6 ISOシステム普及のための課題  
後藤大太郎 エムエムコーポレーション

セッション：G-1 環境保全意識とライフスタイル クラーク 集会室1

座長：高月紘（京都大学） 討論者 柿澤宏昭（北海道大学） Jeff Broadbent(University of Minnesota)

- 1 英国における環境意識と遺伝子組換え農産物に関する社会的受容の経済分析  
○矢部光保 農林水産政策研究所/アンドリアス・コントレオン ロンドン大学地球環境社会経済研究所
- 2 中国・日本における国民の環境意識に関する研究  
鄭躍軍 統計数理研究所
- 3 中国のグリーンコンシューマーの行方 —中国の消費者のパターンはわが国と同様か—  
○栗林敦子 ニッセイ基礎研究所/青柳みどり 国立環境研究所
- 4 地球温暖化対策に対する一般市民の支持要因についての分析  
青柳みどり 国立環境研究所
- 5 企業の環境コミュニケーションに関する日独比較  
○清水裕久・新村保子・桂川孝子・中村暢一・川又百合子 住友生命総合研究所/  
青柳みどり 国立環境研究所/加藤三郎 環境文明研究所
- 6 環境マネジメントシステム再考 —市場経済主義によるシステム評価矛盾の整理—  
○安田義郎・平塚彰 大阪産業大学

セッション：H-1 エネルギー（その1）クラーク 集会室2

座長：井村秀文（名古屋大学） 討論者 森口祐一（国立環境研究所） 小田清（北海学園大学）

- 1 環境規制の効果と社会的要因：石炭品質規制に関する米国と中国の実証的考察  
堀井伸浩 アジア経済研究所
- 2 台湾における環境教育政策の現状(5)  
萩原豪 学習院大学(院)
- 3 地域におけるエネルギー生産性向上に関する研究  
○勝田悟 産能大学/丹本憲 みずほ総合研究所
- 4 都市河川流量改善を目的とした下水処理水導水計画の検討

白川直樹・楠原千佳子 東京大学

- 5 「循環型社会形成推進基本法」の問題—一定常開放系のエントロピー論の視座から—  
薬師寺敬済 名城大学(院)

セッション：I-1 環境政策国際比較（その1） クラーク 集会室3

座長：野上裕生（アジア経済研究所） 討論者 和気洋子（慶應義塾大学） 蟹江憲史（北九州大学）

- 1 グローバル環境外交とビジネス企業部門  
碓氷尊 筑波大学
- 2 自動車排ガス規制における政策過程の比較分析  
上野貴弘 東京大学
- 3 中国における工業排水規制の実施過程 —不完全な規制執行の問題点—  
大塚健司 アジア経済研究所
- 4 韓国における廃棄物政策——その有効性と拡大生産者責任  
村上理映 九州大学(院)
- 5 現代砂漠化の原因は自由貿易  
槌田敦 名城大学

セッション：J-1 自由論題（その1） クラーク 集会室4

座長：古沢広祐（國學院大学） 討論者 和田喜彦（札幌大学） 楠美順理（中京大学）

- 1 環境容量からみた世代間・地域間公平問題の現状とあるべき姿に関する一考察  
泉浩二 三井共同建設コンサルタント
- 2 The Environment and Macroeconomics with Imperfect Competition: Deregulation in the Resource Sector and its impact on the R&D behavior.  
中田実 日本学術振興会
- 3 共有財産資源についての実証的研究 —中部太平洋西部海域を例として  
内藤登世一 京都学園大学
- 4 世代間所得再分配が環境に与える効果  
熊本尚雄 一橋大学(院)

9月28日(土) 午後の部 第1部 報告 13:30-15:50 総合討論 16:00-17:00

セッション A-2：地球温暖化とその対策（その2） クラーク大講堂

座長：天野明弘（関西学院大学） 討論者 森田恒幸（国立環境研究所） 伴金美（大阪大学）

- 1 CDMを巡る国際情勢と日本の対応  
山口光恒 慶應義塾大学
- 2 京都メカニズムに対する公的資金活用方法について  
明日香壽川 東北大学東北アジア研究センター
- 3 Is there any Turning Point in the EKC's for CO<sub>2</sub> Emission? Empirical Econometric Analysis and East-Asian Countries and Mega-Cities Trajectories.  
○Wu Libo・金子慎治・松岡俊二 広島大学
- 4 温室効果ガス削減のための戦略的政策合意の形成について～ゲーム理論による京都議定書再考  
岸野(黒畑)美香 早稲田大学(院)
- 5 日本における炭素税の早期導入に向けた制度設計案 ～環境 NGO の視点から～



畑直之 気候ネットワーク

- 6 地球規模変動研究における人間活動次元の研究領域の展開  
竹下寿英 麻布大学

セッション B-2：環境評価と環境資源勘定(その2) 学会館第3会議室

座長：薫祥哲（南山大学） 討論者 山本充（小樽商大学） 林岳（農林水産政策研究所）

- 1 選択実験デザインにおける現実的な選択肢の重要性  
○寺脇拓 立命館大学／吉田謙太郎 農林水産政策研究所／栗山浩一 早稲田大学
- 2 環境影響物質の限界削減費用を用いた環境配慮商品の社会的効果の測定  
○岡敏弘 福井県立大学／藤井美文 文教大学／石川雅紀 東京水産大学／  
須佐美周 荏原製作所／加藤悟 東京大学／松野裕 明治大学
- 3 選択型実験による VSL の推計  
○柘植隆宏 神戸大学(院)／岸本充生 産業総合技術研究所／竹内憲司 神戸大学
- 4 仮想ランキングによるエコツーリズムの需要予測  
柘植隆宏 神戸大学(院)
- 5 確率的生命の価値の推計におけるリスク特性の影響に関する研究：大気汚染リスクと交通リスクを事例として  
○本田直子・白川博章 広島大学(院)／松岡俊二 広島大学
- 6 選択実験による環境リスク情報の影響分析  
吉田謙太郎 農林水産政策研究所

セッション：C-2 循環型社会・廃棄物・リサイクル（その2） クラーク大集会場

座長：田中信壽（北海道大学） 討論者 石川雅紀（東京水産大学）

- 1 廃棄物産業連関線形計画モデル  
○近藤康之・中村慎一郎 早稲田大学
- 2 廃棄物産業連関分析の動学的拡張  
横山一代(院) 早稲田大学
- 3 廃棄物産業連関モデルによる地域経済分析  
高瀬浩二 早稲田大学

討論会「討論会・循環型社会の責任の所在」議論を効率よくするため、事前に意見を募集しますので、押谷@酪農学園大学までメール(hajime@rakuno.ac.jp) でご連絡ください

セッション：D-2 アジア及び途上国の環境問題（その2）学会館 第4会議室

座長：寺西俊一（一橋大学） 討論者 森晶寿（滋賀大学） 陳 禮俊（山口大学）

- 1 中国の環境 NGO  
相川泰 東京大学
- 2 モンゴル国における環境保全制度に関する問題点  
加茂義明 中央大学・モンゴル国立大学
- 3 社会的環境管理システム・アプローチにもとづく環境協力の評価：日中環境センターを事例として  
○松岡俊二・本田直子・金子慎二・柏村正允 広島大学／楠美順理 中京大学
- 4 東アジア諸国の貿易自由化と環境政策の発展  
原嶋洋平 拓殖大学
- 5 中央アジアにおける母子の健康の環境関連要因

小島宏 国立社会保障・人口問題研究所

セッション：E-2 環境政策・制度の評価・比較（その2）学術会館 小講堂

座長：植田和弘（京都大学） 討論者 大沼あゆみ（慶應義塾大学） 我妻伸彦（立命館大学）

- 1 環境規制と技術変化  
田村誠 東京大学
- 2 地方環境税の根拠と制度設計  
諸富徹 京都大学
- 3 EUの地球温暖化防止対策の背景  
林泰三 福岡工業大学
- 4 地下水資源保全のための財源調達型ビゲー税  
○本多充 福井県大野市役所／岡敏弘 福井県立大学
- 5 炭素税の逆進性  
浜田大光 中央大学(院)
- 6 Privatization and the pollution tax/subsidy  
大堀秀一 京都大学(院)

セッション：F-2 環境経営・環境会計・環境監査（その2）クラーク 集会室10

座長：森下研（エコマネジメント研究所） 討論者 宍戸雅子（KPMG） 早瀬光司（広島大学）

- 1 札幌市の環境マネジメントシステムについて  
西村純一郎 札幌市
- 2 マテリアルフロー情報を活用した環境管理会計の構成原理：会計情報と物量情報の連携  
大西靖 神戸大学(院)
- 3 日本における環境報告書の動向と特徴  
○朴鍾敏 横浜国立大学(院)／河野正男 横浜国立大学
- 4 環境会計実務の現状と課題：環境会計導入企業へのアンケート調査を通して  
○斎尾浩一郎・梨岡英理子・今井伸一 地球環境戦略研究機関／國部克彦 神戸大学
- 5 環境報告書における比較可能性の研究：自動車、ビール、化学工業を中心に  
○北村雅司・神田泰宏・平山健次郎 地球環境戦略研究機関／國部克彦 神戸大学
- 6 日本企業による環境報告書の現状と課題：東証一部上場企業の内容分析を通じて  
○平山健次郎・神田泰宏・品部友美・北村雅司・中曾康壽 地球環境戦略研究機関／  
東田明・川原千明・國部克彦 神戸大学

セッション：G-2 公共事業と環境保全（その1）クラーク 集会室1

座長：仁連孝昭（滋賀県立大学） 討論者 仲上健一（立命館アジア太平洋大学） 只友景士（滋賀大学）

- 1 日本の下水道の問題点  
宇井純 沖縄大学
- 2 河川水質汚濁の計測と下水道事業のあり方に関する研究～広島県太田川の実証分析をふまえて～  
○戸田常一 広島大学／越智浩一郎
- 3 アジアの都市環境インフラ整備における海外直接投資(FDI)に関する調査研究  
○常杪 地球環境戦略研究機関／井村秀文 名古屋大学
- 4 琵琶湖における三次元富栄養化解析モデルとその排出量取引制度設計への適用  
○松本美幸・手塚哲央・山敷庸亮 京都大学

- 5 快適な農村生活環境に関する農業公共投資の事後評価  
○伊藤寛幸・山本康貴・出村克彦 北海道大学
- 6 公共行政における ISO14001 認証取得及び環境マネジメントシステム、環境情報に関する研究  
○張允鍾・金載分・早瀬光司 広島大学

セッション：H-2 エネルギー（その2） クラーク 集会室2

座長：室田武（同志社大学） 討論者 増井利彦（国立環境研究所） 後藤則行（東京大学）

- 1 地球温暖化統合モデルの研究4  
佐藤正博 東京大学
- 2 Structural Time Series Model による日本・英国のエネルギー需要分析  
二宮康司 地球環境戦略研究機関
- 3 家庭部門の消費者が望む自然エネルギー導入と電力価格のトレード・オフ  
○宮田史子 北海道電力総合研究所／土屋智子 電力中央研究所
- 4 環境・資源効率指標のための物量投入産出表の試作  
○森口祐一・南齋規介・寺園淳・加河茂美・橋本征二 国立環境研究所／  
松井重和 富士総合研究所
- 5 実物オプション法を用いた石油公団の事業評価  
今井貴予 京都大学(院)

セッション：I-2 環境政策国際比較（その2） クラーク 集会室3

座長：松下和夫（京都大学） 討論者 本田宏（北海学園大学） 加藤博和（名古屋大学）

- 1 持続可能型都市環境形成のための費用便益分析  
—交通施設整備における日独の環境負荷算定方法を中心として—  
○寺園淳・森口祐一・松橋啓介 国立環境研究所／阿部成治 福島大学
- 2 森林管理における国際的レジームの成立条件についての検討  
藤原敬 森林総合研究所
- 3 持続可能な開発のためのグローバル・ガバナンスに向けて  
—増大する多様な行為主体の影響力と制度改革—  
蟹江憲史 北九州市立大学
- 4 環境保全に配慮した技術指数の試み  
野上裕生 アジア経済研究所
- 5 海洋環境問題におけるバルト海沿岸地域の取組  
○青正澄 共立総合研究所・名古屋大学／柳下正治 名古屋大学／  
高橋若菜 地球環境戦略研究機関
- 6 バルト海沿岸地域における地域環境協力  
○高橋若菜 地球環境戦略研究機関／青正澄 共立総合研究所・名古屋大学／  
柳下正治 名古屋大学

セッション：J-2 英語セッション クラーク 集会室4

座長：松本泰子（国立環境研究所） 討論者 竹内憲司（神戸大学） 和気洋子（慶應義塾大学）

- 1 Real Options Analysis of the Minami Alps Forest Road Construction Project: Quantifying the value of flexibility in a FILP related social infrastructure project  
Yoshifusa Kitabatake (University of Kyoto)



- 2 Kitakyushu Initiative for a Clean Environment in Developing Countries:  
Public-Private Partnerships for Sustainable Urban Environmental Management  
○Mushtaq Ahmed Memon, Shobhakar Dhakal, Miao Chang(IGES),  
Hidefumi Imura(Nagoya Uni.)
- 3 A Meta-analysis of Contingent Valuation Studies on Air Pollution Related Morbidity Risks  
○Sujitra Vassanadumrongdee, Shunji Matsuoka (Hiroshima University)
- 4 Pathways to Participation: NGOs and INGOs in Japanese Climate Change Policy Making  
Jeffrey Broadbent and Stephanie Devitt (University of Minnesota)
- 5 Development of AIM/China to Analyze CO<sub>2</sub> Reduction Policies  
○Hongwei Yang(NIES), Yuzuru Matsuoka(University of Kyoto) and Mikiko Kainuma(NIES)

9月28日(土) 17:30—18:15 学会総会 クラーク会館大講堂

総会終了後、バスにて移動します

18:30— 懇親会 サッポロファクトリー内・ピアケラー札幌開拓使

9月29日(日) 午前の部 第1部報告 9:00-11:20 第2部 総合討論 11:30-12:30

セッション A-3:地球温暖化とその対策(その3) クラーク大講堂

座長:松岡譲(京都大学) 討論者 明日香寿川(東北大学) 中村慎一郎(早稲田大学)

- 1 中国華北地区におけるCDM効果の潜在性  
藤井稔 日立エンジニアリング株式会社
- 2 情報技術活用の高度化による環境負荷削減可能性に関する基礎的研究  
○入江康子 日本電気株式会社 環境技術研究所/増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 3 燃料電池による二酸化炭素削減および経済活動への影響評価に関する研究  
—応用一般均衡モデルによる定量的分析—  
○大川正人 環境省/増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 4 日本における木製品の炭素収支:リサイクル、長寿命化、貿易のインプリケーション  
○橋本征二・森口祐一 国立環境研究所
- 5 既設水道設備を利用した温水供給システムのLCA  
○中野諭 慶應義塾大学(院)/疋田浩一・吉岡完治 慶應義塾大学産業研究所
- 6 Stability of the Trade of Emission Rights  
· Does a Short-Run Equilibrium Converge to a Long-Run Equilibrium in an Emission Right Scheme?·  
Eiji Hosoda (Keio University)

セッション B-3:環境評価と環境資源勘定(その3) 学術会館第3会議室

座長:吉田謙太郎(農林水産政策研究所) 討論者 竹内憲司(神戸大学)

- 1 有機野菜の販売可能性実験とその評価  
○佐藤真行 京都大学(院)/坂上雅治 日本福祉大学/植田和弘 京都大学/  
鈴木靖文・高月紘 京都大学環境保全センター
- 2 資本蓄積と廃棄物蓄積の関係  
加河茂美 国立環境研究所

- 3 中国の自然生態系と農業発展—Carrying Capacity による評価—  
○高橋義文 北海道大学(院)/出村克彦 北海道大学/林岳 農林水産政策研究所
- 4 環境経済統合勘定による農業の多面的機能評価手法の開発  
○林岳 農林水産政策研究所/山本充 小樽商科大学/出村克彦 北海道大学/  
合崎英男・三橋初仁 農業工学研究所
- 5 北海道における廃棄物勘定の試算  
山本充 小樽商科大学

セッション：C-3 循環型社会・廃棄物・リサイクル (その3) クラーク大集会場

座長：押谷一 (酪農学園大学) 討論者 安田八十五 (関東学院大学) 日引聡 (国立環境研究所)

- 1 わが国における廃棄物処理構造の変化に関する推定  
○奥山淳平 東京工業大学/増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所
- 2 資源価格と最適なりサイクル政策について  
新熊隆嘉 東京外国語大学
- 3 耐久消費財に関する消費者行動と廃棄物管理  
赤石秀之 法政大学(院)
- 4 Bottle Targeted Policies in Material Cycles  
小出秀雄 西南学院大学
- 5 3R 促進のための商業の役割—自動車を例として—  
小林純子 名城大学(院)
- 6 循環型社会形成に向けた地区環境部の役割  
—愛媛県 M 町 N 地区におけるごみ減量化・リサイクルの展開を事例として—  
○岩崎幸弘・細川隆雄 愛媛大学
- 7 行政のリサイクル事業と古紙業者の現状  
加藤濃子 名城大学(院)
- 8 離島における廃棄物処理問題(2)  
○藤本延啓・外川健一 九州大学

セッション D-3 アジア及び途上国の環境問題 (その3) 学術会館 第4会議室

座長：山下彰一 (国際東アジア研究センター) 討論者 大塚健司 (アジア経済研究所) 井村秀文 (名古屋大学)

- 1 CVM による環境リスクの経済評価に関する東アジア比較研究  
—クアラルンプール・広島を例として—  
○白川博章・本田直子・木戸謙介 広島大学(院)/松岡俊二 広島大学
- 2 フィリピン・米軍基地跡地における環境被害  
○大島堅一 立命館大学 除本理史 東京経済大学
- 3 東アジア大都市における都市発展と内包資源エネルギー量の関係についての一考察  
○金子慎治 広島大学/中山裕文・高尾彰 九州大学/井村秀文 名古屋大学
- 4 途上国の産業公害防止のための環境低利融資の評価  
—ODA による支援と日本国内の環境低利融資制度との効果の比較—  
森晶寿 滋賀大学
- 5 韓国の環境政策と環境予算制度  
李秀澈 名古屋学院大学

- 6 レーヨン産業の国際移転と二酸化炭素中毒  
林宰司 高崎経済大学

セッション：E-3 環境政策・制度の評価・比較（その3）学術会館 小講堂

座長：浜本光紹（獨協大学） 討論者 勝田悟（産能大学） 植田和弘（京都大学）

- 1 ミネソタ廃棄物税制の発展過程とその効果  
川勝健志 京都大学(院)
- 2 Trade Liberalization of Recycled Materials and Effective Use of Resources  
○東田啓作・石田葉月 福島大学
- 3 アメリカでのSO<sub>2</sub>の排出権取引に関する経済分析—電力産業における排出権取引制度について  
金星姫 京都大学(院)
- 4 環境規制は研究開発を促進するか：企業別データを用いた実証分析  
中野牧子 神戸大学
- 5 米国半導体産業における化学物質排出と企業活動 ～TRI データによるパネル分析～  
○坂本和靖・栗田匡相・安田加世 一橋大学(院)
- 6 環境及び年金の世代間公正性の同時是正の解決に向けた政策の展望とその効果  
葦津紗恵 三菱総合研究所／増井利彦・森田恒幸 国立環境研究所

セッション：F-3 環境経営・環境会計・環境監査（その3）クラーク 集会室10

座長：後藤敏彦（環境監査研究会） 討論者水口剛（高崎経済大学）角田季美枝（バルディーズ研究会）

- 1 ABCによる環境予算  
小川哲彦 横浜国立大学(院)
- 2 応用一般均衡モデルによる環境政策の効果分析  
増井利彦 国立環境研究所
- 3 日本における環境格付けの現状評価と展望  
○謝双玉・早瀬光司 広島大学
- 4 環境への寄与に着目した新たな環境効率の考え方：京都市下水道事業を対象として  
西村邦幸 三菱総合研究所
- 5 グリーン電力の普及に関する人々の意識  
深江千代一 原子力安全システム研究所
- 6 製造工程における環境負荷削減の障害に関する一考察  
○今村茂義 株式会社タクマ／藤倉良 立命館大学

セッション：G-3 公共事業と環境保全（その2）クラーク 集会室1

座長：宇井純（沖縄大学） 討論者 戸田常一（広島大学）

- 1 廃棄物政策と地方財政 —廃棄物処理施設建設財源を中心に—  
関耕平 一橋大学(院)
- 2 緊急地域雇用創出特別交付金制度における林業・雇用政策の統合問題  
服部崇 経済産業省
- 3 経済的手法による水環境保全政策と財政問題 —米国における排出許可証取引制度を素材に—  
只友景士 滋賀大学

セッション：H-3 環境リスク クラーク 集会室2

座長：岡敏弘（福井県立大学） 討論者 中西準子（横浜国立大学） 眞柄泰基（北海道大学）

- 1 環境に起因する大気中放射性物質濃度の変化とリスクについて  
○粟田功・平塚彰 大阪産業大学
- 2 スタンダード・ギャンプル法による交通事故傷害の死亡に対する重みの推定  
○兒山真也 神戸商科大学／竹内憲司 神戸大学
- 3 環境政策としての「自主管理対策」：日米の有害大気汚染物質対策の比較  
岸本充生 産業技術総合研究所
- 4 有害化学物質の国際取引における事前の情報に基づく同意手続の意義  
久保田泉 国立環境研究所
- 5 第二次産業の環境報告書にみる環境経済性評価の動向  
広松猛 広島国際大学
- 6 レスポンシブル・ケア活動の理念と現実(2) —地域対話を事例として—  
○野見山里恵・外川健一 九州大学

セッション：I-3 農業と環境問題 クラーク 集会室3

座長：出村克彦（北海道大学） 討論者 伊藤昭男（北海学園北見大学） 矢部光保（農林水産政策研究所）

- 1 環境保全型農業の成立のための政策的支援に関する実証的検討  
小池恒男 滋賀県立大学
- 2 琵琶湖集水域水田における農業濁水の排出メカニズムと政策的課題  
増田佳昭 滋賀県立大学
- 3 アジアの経済発展と水質・水量に関する統合モデルの開発  
○川島博之・大賀圭治 東京大学／新藤純子・岡本勝男 農業環境技術研究所
- 4 有機系廃棄物循環システムの比較研究—綾町・臼田町・長井市を事例として—  
西俣先子 國學院大学(院)
- 5 地産地消運動と環境対策の関連性に関する研究  
佐々木輝雄 日本獣医畜産大学

セッション：J-3 自由論題（その2） クラーク 集会室4

座長：和田喜彦（札幌大学） 討論者 室田武（同志社大学） 桂木健次（富山大学）

- 1 定常経済論にみるエコロジー経済学的パラダイム  
八塚みどり 京都大学(院)
- 2 Transboundary Pollution and Transfer of Environmental Protection Technology  
大内田康徳 北九州工業高等専門学校
- 3 環境、都市、地域にかかわる社会的損失と公共性に関する研究  
家木成夫 社会工学研究所
- 4 貨幣の社会経済的機能と地域通貨～持続可能なコミュニティとの関わり  
久富健治 神戸山手大学
- 5 持続可能な経済社会と地域通貨・ソーシャルエコノミー  
中島恵理 環境省
- 6 潜伏期を考慮した大気汚染の死亡影響改善便益算出手法の検討  
○板岡健之 富士総合研究所／赤井誠 産業技術総合研究所

市民公開【ヨハネスブルグ・サミット報告会】 午前9:00-12:00 学術交流会館 講堂

■ヨハネスブルグ・サミット後の地球環境問題におけるNGOの役割■

□主催：環境経済・政策学会、ヨハネスブルグ・サミット提言フォーラム

□後援：日本環境学会, FoE Japan, メコン・ウォッチ, (財) アジア女性交流・研究フォーラム (予定)

【座長】磯野 弥生 東京経済大学

【基調報告】

1. ヨハネスブルグ・サミットの採択文書と21世紀の地球環境問題

外務省国際社会協力部 地球環境課長 側嶋 秀典 -30分-

2. 21世紀における地球環境問題におけるNGOの役割～ヨハネスブルグ・サミット提言フォーラムの経験から～

利根川治夫 ヨハネスブルグ提言フォーラム、日本環境学会) -30分-

3. 地球的公平性と環境債務～地球環境問題へのNGOからの提言～

小野寺ゆうり FoE Japan (旧地球の友ジャパン) -30分-

【WSSDにおけるNGOの活動報告】

4. 持続可能な未来の環境教育10年

阿部 治 立教大学 (ヨハネスブルグ提言フォーラム) -15分-

5. ODAと環境社会問題及び資金協力問題

福田 健治 メコン・ウォッチ -15分-

6. 21世紀の環境問題とジェンダーの役割

織田 由紀子 (財) アジア女性交流・研究フォーラム 主任研究員-15分-

【総合討論】 -30分-

9月29日午後の部 第1部 基調講演 13:30-14:30 第2部 総合討論 14:45-17:00

市民公開シンポジウム

クラーク会館大講堂

「公共事業と環境保全」

札幌市・北海道・北海道新聞社 後援

第1部 13:30-14:30 基調講演

「公共事業と環境保全」小野有五 (北海道大学大学院地球環境科学研究科教授)

第2部 14:45-17:00 パネル討論 公共事業と環境保全

パネリスト 小野有五 (北海道大学大学院地球環境科学研究科教授)

環境省 (予定)

田中康夫 (前長野県知事・予定)

山口二郎 (北海道大学大学院法学研究科高等法政教育研究センター長)

宮脇 淳 (北海道大学大学院法学研究科教授)

佐和隆光 (環境経済・政策学会会長、京都大学経済研究所所長)

司会 吉田文和 (北海道大学大学院経済学研究科教授)

理事会開催のお知らせ

9月28日 (土) 8:00-9:00 札幌アスペンホテル

9月28日 (土) 12:30-13:30 クラーク会館 集会室5

9月29日 (日) 12:30-13:00 クラーク会館 集会室5



環境経済・政策学会セッション： 9月28日・29日

9月27日(金) 13:00~18:00	北大経済学部大会議室
特別国際シンポジウム	*先着申し込み40名、実行委員会宛申し込みお願いします
「東アジアの持続可能な経済と社会」	
Lei Ming(中国) Keijun Jiang(中国) Daigee Shaw(台湾) Wen Yan Chiau(台湾) RheeJengJeon(韓国) Sang-Hee Yoo(韓国)	

28日(土)午前の部	28日(土)午後の部	29日(日)午前の部	会場
9:30-12:30	13:30-17:00	9:00-12:30	
A-1 地球温暖化とその対策(その1)	A-2 地球温暖化とその対策(その2)	A-3 地球温暖化とその対策(その3)	クラーク大講堂
B-1 環境評価と環境資源勘定(その1)	B-2 環境評価と環境資源勘定(その2)	B-3 環境評価と環境資源勘定(その3)	学術会館第3会議室
C-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(その1)	C-2 循環型社会・廃棄物・リサイクル(その2)	C-3 循環型社会・廃棄物・リサイクル(その3)	クラーク大集会場
D-1 アジア及び途上国の環境問題(その1)	D-2 アジア及び途上国の環境問題(その2)	D-3 アジア及び途上国の環境問題(その3)	学術会館第4会議室
E-1 環境政策・制度の評価・比較(その1)	E-2 環境政策・制度の評価・比較(その2)	E-3 環境政策・制度の評価・比較(その3)	学術会館小講堂
F-1 環境経営・環境会計・環境監査(その1)	F-2 環境経営・環境会計・環境監査(その2)	F-3 環境経営・環境会計・環境監査(その3)	クラーク集会室10
G-1 環境保全意識とライフスタイル	G-2 公共事業と環境保全(その1)	G-3 公共事業と環境保全(その2)	クラーク集会室1
H-1 エネルギー(その1)	H-2 エネルギー(その2)	H-3 環境リスク	クラーク集会室2
I-1 環境政策国際比較(その1)	I-2 環境政策国際比較(その2)	I-3 農業と環境問題	クラーク集会室3
J-1 自由論題(その1)	J-2 英語セッション	J-3 自由論題(その2)	クラーク集会室4
大会実行委員会本部			クラーク集会室5

29日 9:00~12:00	学術交流会館・大講堂
ヨハネスブルグサミット報告会	

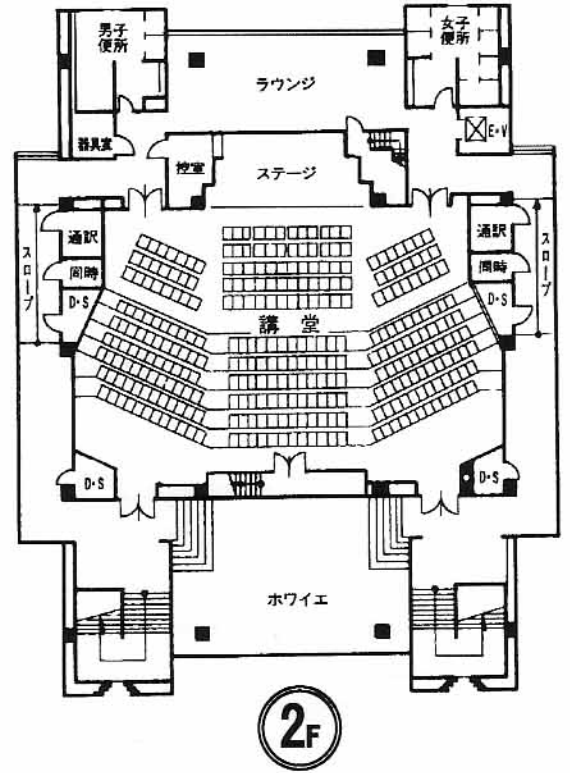
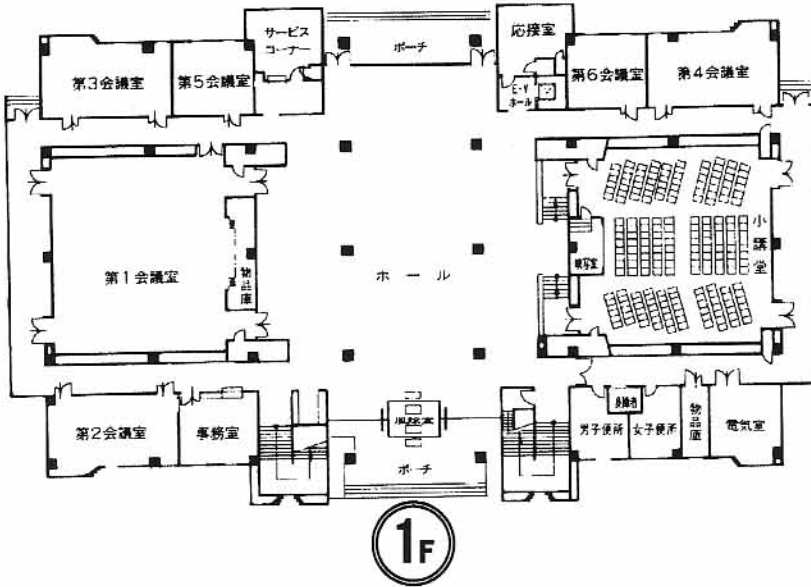
29日 午後の部 13:30~17:00	クラーク大講堂
市民公開シンポジウム	
「公共事業と環境保全」(司会 吉田文和・北大教授)	
・小野有五(北大教授)	・山口二郎(北大教授)
・宮脇淳(北大教授)	・佐和隆光(京大教授)
	・田中康夫(前長野県知事予定)
	・環境省(予定)

会場：北海道大学 学術交流会館・クラーク会館

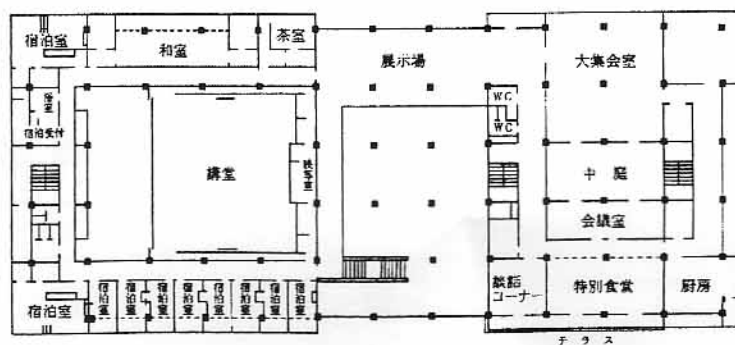
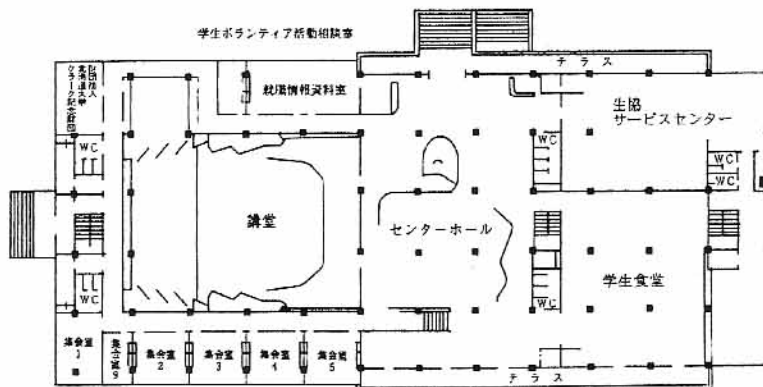
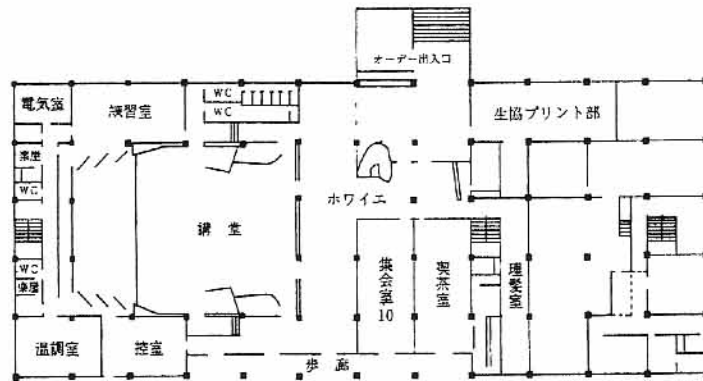
交通：JR札幌駅北口から徒歩5分

# 施設案内 Facilities

## 学術交流会館平面図



## クラーク会館平面図



# Society for Environmental Economics and Policy Studies

## 大会実行委員会

吉田文和 (北海道大学、事務局)

出村克彦 (北海道大学、会計)

田中信壽 (北海道大学)

柿澤宏昭 (北海道大学)

押谷 一 (酪農学園大学)

小田 清 (北海学園大学)

和田喜彦 (札幌大学)

佐藤正人 (北海道新聞社)

川瀬洋三 (札幌市)

## 大会実行委員会連絡先

北海道大学経済学部 吉田研究室

電 話 011-706-2782      F A X 011-706-4947